

## 団結旗開き

# 激動の年をしぶとく

1月14日

# たたかいいぬこう!



230名の結集で決意うちかためる

一九八九年は文字通り激動の年となる。天皇ヒロヒトの死を機に激化した天皇制、天皇元首化攻撃と、更に強まるであろう労働運動と民主勢力への弾圧のただ中で、労働千葉は一月十四日、労働者福祉センターにおいて団結旗開きを開催した。会場は組合員、家族、支援団体二三百名でうめつくされ、おりからの天皇の死、自粛ムードをふきとばす、八九年の出陣式にふさわしいものとなった。

### 激動の年にふさわしい幕明け

旗開きは、委員長を始めとする諸団体、支援者のあいさつを受け、恒例の支部対抗カラオケ大会でますます盛り上がった。始めに、滝口組織部長の「八九年の勝利に向けて本日はその総決起大会として成功させよう」と

の司会のことばで開会された。年頭のあいさつにたった中野委員長は、「八九年は歴史的な節目の年となる。十年前われわれは労働革マルと決別し闘う伝統を守り動

ーウラハツグク

## たたかう各界の来賓あいさつ

△社会党・大木省吾氏▽



塚と共に闘い、解雇者三〇名は先頭にたっている。弁護団は勝利をかちとるまで連帯し闘う。

自民党はリクルート問題を、天皇の死でのりきろとしていいる。私は保守の牙城、千葉三区で体力の限界までガンバル!

△県労連・広田事務局長▽



三里塚の勝利は、労働千葉と、全国のすばらしい闘う労働者の潮流を生んだ。収用委再任命阻止の闘いを展開する。

△東京地域連帯労組・佐藤芳夫氏▽



天皇Xデーの大反動に人民の怒りははげしい。天皇制攻撃は失敗する。二月交流センター結成を勝ちとろう。私は先頭にたつ。

△労働水戸・坂場執行委員長▽

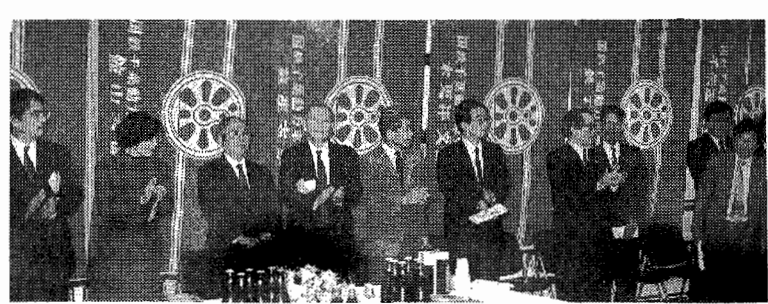


八九年を考える時、私は十年前の分離・独立の必死の闘いを思い出す。十年後、労働千葉は三里

△家族会・林会長▽



闘いを勝利する道は、三里塚精神だ。断固闘う。



この他、社会党議員団、関西の加辺氏、東京実行委員会の長谷川英憲氏、全電通の小田切氏、OB会の中江氏、婦人民主クラブ、全金本山、上映委員会の宮島氏のあいさつをうけましたが、紙面のついでで割愛します。

国鉄「分割・民営化」体制粉砕! 鉄道労連解体をかちとろう!